

○単元の目標及び評価規準の設定

外国語科の場合、単元の目標を、次のように設定します。

(1)の「知識及び技能」及び(2)「思考力、判断力、表現力等」の目標については、基本的に指導事項の文末を「～できる。」として示す。

(3)「学びに向かう力、人間性等」の目標については、いずれの単元においても外国語科の目標である「他者に配慮しながら～しようとする。」の部分を示す。

単元の評価規準は、五つの領域別目標ごとに、次のように設定します。

◆「知識・技能」のうち、「知識」は、「【言語材料】について理解している。」が基本的な形となる。「技能」は、「【事柄・話題】について【言語材料】などを用いて～する技能を身に付けている」が基本的な形となる。

◆「思考・判断・表現」は、「【目的等】に応じて、【事柄・話題】について～している」が基本的な形となる。

◆「主体的に学習に取り組む態度」は、「【目的等】に応じて、【事柄・話題】について～しようとしている。」が基本的な形となる。

※本単元において、目標に向けて指導を行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない領域について明記する。

子供たちに求められる資質・能力を確実に育むためには、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を進めていくことが重要です。そのため、単元を通してどのような子供たちの姿を目指していくのかを明確にイメージし、単元を構想しましょう。

小学校第5学年 外国語科 学習構想案

1 単元構想

単元名	「What do you have on Monday?」(発行者名「教科書名」p.○○～○○)		
単元の目標	(1)教科や時間割について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の小文字を識別し、読むことができる。[知識及び技能] (2)相手に自分のことをよく知ってもらうために、相手に伝わる工夫をしながら時間割や学びたい教科について伝え合うことができる。[思考力、判断力、表現力等] (3)相手に伝わる工夫をしながら、時間割や学びたい教科について伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	「聞くこと」(ウ) 【知識】 教科の言い方や、What subjects do you like? What do you have on ~? ...その答え方について理解している。 【技能】 好きな教科や時間割など、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	「聞くこと」(ウ) 相手のことをよく知するために、時間割や学びたい教科などについて、その概要を捉えている。	「聞くこと」(ウ) 相手のことをよく知するために、時間割や学びたい教科などについて、その概要を捉えようとしている。
	「話すこと〔やり取り〕」(イ) 【知識】 教科の言い方や、What subjects do you like? What do you have on ~? ...その答え方について理解している。 【技能】 好きな教科や時間割などについて、What subjects do you like? What do you have on ~? 等を用いて、考えや気持ちなどを伝え合うために必要な技能を身に付けている。	「話すこと〔やり取り〕」(イ) 自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分の考えたオリジナルの時間割や学びたい教科などについて伝え合っている。	「話すこと〔やり取り〕」(イ) 自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、自分の考えたオリジナルの時間割や学びたい教科などについて伝え合おうとしている。
	「読むこと」 ※本単元における「読むこと」については、目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。		

★「単元終了時の子供の姿」のポイント

- 目標や評価規準を要約し、具体的なコミュニケーションの目的や場面、状況に応じた望ましい子供の姿となっていますか
(文末は「～している(しようとしている)子供(児童)」)
- 子供たちと共有できる表現になっていますか

実際に他者とコミュニケーションを図る場面で学習したことを生かそうとする姿を想定して、書き表した例

- ㊦「相手のことを知るために」に、コミュニケーションの目的を示しています。
- ㊧「～について」に、コミュニケーションの事柄・話題を示しています。
- ㊨「～しながら伝え合っている」に、実際のコミュニケーションの場面でのどのように活動したり考えたりしているかを示しています。

★「本単元で働かせる見方・考え方」のポイント

- 単元を通じた学習課題を解決するための見方・考え方となっていますか
- 見方・考え方を働かせると深い学びになりますか

単元を通じた学習課題を踏まえて、どのような視点で物事を捉えて(見方)、どのような考え方で思考していくか(考え方)を想定して、書き表した例

- ㊩「～を踏まえて」に、教科等の特質に応じた見方に関する内容を示しています。(※外国語の場合は、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉えること)
- ㊪「～すること」に当たる文言に、教科等の特質に応じた考え方に関する内容を示しています。(※外国語の場合は、コミュニケーションの目的・場面、状況等に応じて、考えなどを形成、再構築すること)

★「単元を通じた学習課題」のポイント

- 子供たちが単元を通して興味・関心をもって深く考えることができる学習課題ですか
- 見方・考え方を働かせて課題解決を図ることができるものですか
- 子供たちと共有できる表現ですか
- 単元のゴールの姿に迫るものですか

将来の夢に近づくためのオリジナルの時間割を伝え合うという課題に取り組むことを通して、他者によりよく伝えられるようになることをねらって、書き表した例

- ㊫「～ために」に、言語活動の目的を示しています。
- ㊬「～しよう」に、学習内容や指導事項を示しています。

㊦ 相手のことを知るために、時間割や好きな教科などについて、必要な語句や表現を使って、伝える相手に応じて工夫をしながら伝え合っている児童

㊩ お互いのことをよく知るために、相手の夢に近づくためのオリジナルの時間割や学びたい教科などについて伝え合おう。

㊪ 相手の好きなことや得意なことなどを踏まえて、伝えたり尋ねたりする内容や表現を工夫すること

指導計画と評価計画 (7時間取扱い 本時7/7)

過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	1	○単元のゴールを確認する。 ○世界の学校生活の様子を知り、自分たちとの共通点や相違点について考える。 ○教科や曜日の言い方について知り、言ったり聞いたりする。	「聞くこと」(ウ) 【知】(ワークシート、行動観察)
二	2	○時間割や曜日について尋ねたり答えたりする言い方を知る。 ○活字体の小文字を識別して読み、アルファベットの音読みや振り仮名などを読み取る。	「話すこと〔やり取り〕」(イ) 【知】(行動観察)